



# 東京神學大學

Tokyo Union Theological Seminary

2023年度

大学院神学研究科

博士課程前期課程入学者選抜

聖書神学専攻

組織神学専攻

博士課程後期課程入学者選抜

聖書神学専攻

組織神学専攻

## 学生募集要項

感染症、災害、不測の事態等により学生募集要項の内容を変更する場合があります。最新の情報については本学ホームページをご確認ください。

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-30

Tel : 0422-32-4185 Fax : 0422-33-0667

Mail : [tuts@tuts.ac.jp](mailto:tuts@tuts.ac.jp)

# 目 次

博士課程前期課程 .....	3
◆理念・目的	
◆学位授与方針・教育課程編成方針・入学者受け入れ方針	
1. 出願資格.....	4
2. 募集定員	
3. 試験日	
4. 試験会場	
5. 選考方法	
6. 出願手続.....	5
7. 受験票.....	6
8. 試験当日	
9. 合格者発表.....	7
10. 入学手続.....	8
11. 初年度学生納付金 .....	9
12. 受験時および入学後に配慮が必要な場合 ....	10
<参考>筆記試験について .....	11
博士課程後期課程 .....	13
◆理念・目的	
◆学位授与方針・教育課程編成方針・入学者受け入れ方針	
1. 出願資格.....	14
2. 募集定員	
3. 試験日	
4. 試験会場	
5. 選考方法	
6. 出願手続.....	15
7. 受験票.....	16
8. 試験当日.....	17
9. 合格者発表	
10. 入学手続.....	18
11. 初年度学生納付金	
12. 受験時および入学後に配慮が必要な場合 ....	19
<参考>筆記試験について .....	20



## 博士課程前期課程

### 聖書神学専攻 組織神学専攻

#### ◆ 東京神学大学大学院の理念・目的（東京神学大学大学院学則第1条・第2条に拠る）

東京神学大学大学院は、学校教育法第99条に基づき、キリスト教神学の理論および応用を教授研究する神学研究科を置き、博士課程を設けています。博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

博士課程前期課程は、本大学あるいは他の大学神学部等における一般的、専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って専攻分野を研究し、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力とともに、キリスト教神学に関する高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とします。それによって、福音主義教会やキリスト教学校等に、専ら教職として、高度の神学的知識をもって仕え、主体的に神学的考察と判断をすることのできる伝道者を養成することを目指しています。

#### ◆ 東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期課程 3つのポリシー

##### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本課程では、強いリーダーシップを持った伝道者に欠かせない「主体的に神学する」能力を十分に身に付けること、その上で、伝道者が現実に直面する諸課題・諸要求に、多様な協力関係の中での確に対応する能力を養うこと、教会やキリスト教学校等への赴任に向けた召命感が一層確立することが求められます。

そのために、本課程に2年（4学期）以上にわたって在学して、所定の単位（原則として44単位）を優れた成績（全科目の成績評価点平均（GPA）及び専攻科目のGPAがいずれも2.0以上）で修得し、修士論文についても合格を認められた学生は、上記の能力を身に付けたと見做され、修士（神学）の学位が授与されます。

##### 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本課程においては、学生は聖書神学専攻または組織神学専攻のどちらかに所属します。まず、主体的に神学する能力を養成するために開講される授業を履修します。授業は、専門的な知識を深めるために講義形式で行われるものと、主体的に神学する能力を身に付けるために演習形式で行われるもの、及びその両者を組み合わせたものが開講されます。神学における主体性を確立するためには、専門分野を深めると同時に、その全分野を広く学ぶことを必要とすることから、その中から、より高度で専門的な知識を身に付けるために専攻科目20単位を、さらに広い視野に立つことを目指して、幅広い知識を身に付けるために専攻外科目10単位を履修します。

主体的に神学する能力の成果として、修士論文を作成します。修士論文の作成は、希望の指導教授による指導の下で1年次の後期から本格的に開始され、2年次の前期末に提出します。修士論文を提出した者は、身に付けた主体的に神学する能力を踏まえて、伝道者が現実に直面する諸課題・諸要求に対応する能力を養うことが求められます。そのために、2年次後期に集中的に実践神学研修課程の学びをし、実践に関わる極めて具体的な諸課題・諸問題についての取り組み方を学びます。

##### 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、以下のような能力・意欲等をもつ学生を求めます。

1. 召命を確信し、現代人の問いに答える福音を語る伝道者を目指す者
2. 神学における学士レベルの基礎的知識を有する者
3. 幅広い知識と豊かな教養を土台として、神学をさらに専門的に学び、高度な神学的知識をもって福音を伝道することを志す者
4. 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
5. コミュニケーション能力と論理的思考に基づく専門的能力を高めたいと願う者

## 1. 出願資格

次の(1)、および(2)または(3)に該当する者。ただし、留学生等は(1)、および(2)または(3)、ならびに(4)に該当する者。

- (1) 福音主義（プロテスタント）の教会に属し、洗礼（バプテスマ）を受けた後原則として3年以上教会生活をしている者で、所属教会の推薦がある者。
- (2) 本大学または他の大学（外国の大学を含む）を卒業し、学士（神学）もしくはそれに準ずる学歴を有する者。または2023年3月学士（神学）取得見込の者。
- (3) 本大学院において、本大学学部を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。該当者は、必ず出願前に本学に問い合わせること。
- (4) <留学生等※>日本語能力に関して、次のいずれかに該当する者。
  - ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1または1級合格者。
  - ② 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1の2022年度受験者。
  - ③ 学校教育法に定められている高等学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、短期大学、大学または大学院に在籍している者、あるいは在籍していた者。※出願資格について不明な点は、出願前に本学に問い合わせること。

## 2. 募集定員

聖書神学専攻：若干名  
組織神学専攻：若干名

## 3. 試験日

2023年2月14日（火）・15日（水）

※新型コロナウイルス感染症等による理由で、試験当日やむを得ず欠席した場合は、振替試験申請手続を完了し、本学が認めた場合に限り、2023年3月7日（火）に振替試験を受験することができる。ただし、新型コロナウイルス感染等の状況によって変更する場合がある。詳細は受験票とともに通知する。

## 4. 試験会場

東京神学大学（東京都三鷹市大沢3-10-30）

## 5. 選考方法

	聖書神学専攻	組織神学専攻
論文審査	学士論文もしくはそれに準ずるもの ●論文は出願時に提出する。	学士論文もしくはそれに準ずるもの ●論文は出願時に提出する。
筆記試験	① 外国語（90分） ●英語・ドイツ語のうち1科目を受験する。 受験科目は出願時に選択する。 ●受験科目に応じて、それぞれ英和辞典・独和辞典の使用を認める。書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。  ② 専攻に関係のある語学（60分） 旧約聖書神学—ヒブル語 新約聖書神学—ギリシャ語 ●本学が貸与する辞書の使用を認める。	外国語（90分） ●英語・ドイツ語のうち1科目を受験する。 受験科目は出願時に選択する。 ●受験科目に応じて、それぞれ英和辞典・独和辞典の使用を認める。書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。
面接試験 (口頭試問)	15分程度	15分程度

## 6. 出願手続

志願者は次の期間中に入学検定料を納入し、出願書類を本学所定の出願用封筒により簡易書留速達で提出すること。

入学検定料納入および出願期間 (消印有効)	2023年1月10日(火)～1月17日(火)
--------------------------	------------------------

### (1) 入学検定料

#### ① 入学検定料

26,000 円

#### ② 納入方法

本学所定の振込用紙に必要事項を記入のうえ、入学検定料納入期間中に日本国内の金融機関窓口（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から納入すること。

### (2) 出願書類

#### ① 入学者選抜願書

- ・ 太枠内は表面・裏面とも漏れなく記入し、該当項目を○印で囲むこと。細枠内は記入しない。
- ・ 「聖書神学専攻」「組織神学専攻」のいずれか志望する専攻に○印を記入すること。
- ・ 氏名は戸籍やパスポート等と同一の表記にすること。
- ・ 年齢は2023年4月1日時点の満年齢を記入すること。
- ・ 証明写真（縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。スナップ写真不可）を貼付すること。
- ・ 表面に年月日を記入し、自署すること。

#### ② 入学者選抜願書 付表2

- ・ 太枠内に氏名を記入すること。
- ・ 家庭状況  
同居および帰省先の家族について、差し支えない範囲で記入すること。
- ・ 語学関係検定資格取得状況  
実用英語技能検定、ドイツ語技能検定、日本語能力試験等、語学に関する検定試験有資格者は資格取得状況を記入すること。  
※付表2への記載内容は合否に一切関係しない。

#### ③ 私の信仰経歴

- ・ 次の点について考えや思いをよく整理し、1,200字程度にまとめて、黒または青色のペンを用いて書くこと。  
\*なぜ教会に通うようになり受洗に導かれたのか。  
\*キリスト者としてどのように歩んできたか。  
\*どのように召命を確信し、東京神学大学大学院への入学を志望するようになったのか。

#### ④ 所属教会推薦書

- ・ 「所属教会推薦書作成についてのお願い」に推薦書提出用封筒を添えて、所属教会の牧師に作成を依頼すること。
- ・ 推薦書は、厳封のまま出願用封筒に同封して提出すること。

#### ⑤ 写真票

- ・ 入学検定料納入後「振込金通知書A票(入学検定料・学校提出用)」を所定欄に貼付すること。
- ・ 証明写真（縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。スナップ写真不可）を貼付すること。
- ・ 専攻・受験番号の欄は記入せず、氏名のみを記入すること。

#### ⑥ 受験票および宛名

- ・ 受験票は、願書受理通知および入学検定料受領書を兼ねる。
- ・ 受験票の専攻・受験番号の欄は記入せず、氏名のみを記入すること。
- ・ 宛名は、本学からの連絡・通知の際に使用するため、郵便物が確実に届くよう丁寧に記入すること。

#### ⑦ 東京神学大学入学後の生活調査

- ・ 入学後に見込まれる生活状況について、差し支えない範囲で記入すること。  
※生活調査への記載内容は合否に一切関係しない。

⑧ 受験票返信用封筒

- ・ 簡易書留速達料金 664 円分の切手を貼付すること。
- ・ 表面に受験票の送付先住所・郵便番号・氏名を明記すること。

⑨ 大学の成績証明書

- ・ 出願資格となる大学（外国の大学を含む）の成績証明書（和文または英文）の原本を厳封で提出すること。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得られない場合は、出願前に本学に問い合わせること。

⑩ 大学の卒業(見込)証明書

- ・ 出願資格となる大学（外国の大学を含む）の卒業（見込）証明書（和文または英文）の原本を厳封で提出すること。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得られない場合は、出願前に本学に問い合わせること。

⑪ 論文

- ・ 志望専攻分野における学士論文もしくはそれに準ずる論文の写しを提出すること。
- ・ 言語は日本語に限り、本文の分量は 12,000 字～20,000 字とする。
- ・ A4 用紙（横書き）にて作成すること。

⑫ <留学生等>日本語能力が出願資格を満たすことを証明する書類

- ・ 出願資格(4)①に該当する者は、「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合否結果通知書」のコピーを提出すること。
- ・ 出願資格(4)②に該当する者は、2022 年度日本語能力試験の受験票のコピーを提出すること。
- ・ 出願資格(4)③に該当する者は、上記出願書類の⑨および⑩を提出すればよい。

(3) 出願上の注意

- ① 出願書類等を記入する際は、黒または青のペンで記入すること。鉛筆・シャープペンシル・フリクション等の消せるペンは使用不可。
- ② 訂正箇所は、二重線を引き訂正印を押すこと。修正液・修正テープ等は使用不可。
- ③ 出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けない。
- ④ 納入された入学検定料および提出された出願書類は、理由の如何を問わず返還しない。
- ⑤ 虚偽の書類が提出された場合あるいは提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消す。また、合格後に虚偽の記載あるいは虚偽の書類の提出が判明した場合においても、入学許可を取り消す。

## 7. 受験票

受験票は簡易書留速達で発送する。その際、試験当日のプログラムを同封する。

受験票発送日	2023年2月3日(金)
--------	--------------

(1) 注意事項

- ① 日本郵便による不在連絡票を受け取った場合は速やかに対応し、受験票を確実に受け取る
- ② 受験票が未着の場合は、2023 年 2 月 8 日(水)までに教務課へ連絡すること。
- ③ 受験票を紛失した場合は、速やかに教務課に申し出ること。
- ④ 試験当日は受験票を必ず持参し、常に携帯すること。

## 8. 試験当日

(1) プログラム

◆1日目:2023年2月14日(火)

① 受付

午前 8 時 40 分～50 分の間に本人確認等を行う。

② 礼拝

試験に先立って礼拝が行なわれるので、聖書・讃美歌を持参することが望ましい。  
本学では、新共同訳聖書と1954年版讃美歌 I・II編を用いている。

### ③ 筆記試験

- 鉛筆・消しゴム等の筆記用具を持参すること。
- 外国語試験（英語・ドイツ語）に関しては、受験科目に応じて英和辞典・独和辞典の使用を認めるので、書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。
- 専攻に関係のある語学の試験においては、本学が貸与する次の辞書のみ使用を認める。  
ヒブル語: Holladay, W. L. *A Concise Hebrew and Aramaic Lexicon of the Old Testament*.  
Grand Rapids: Eerdmans, 1971.  
ギリシャ語: Bauer, W. *A Greek-English Lexicon of the New Testament and other Early Christian Literature*. 3rd ed. Revised and edited by F. W. Danker.  
Chicago and London: The University of Chicago Press, 2000.

### ◆2日目:2023年2月15日(水)

#### 面接

面接開始時刻の30分前を目安に来校し、受験生控室にて待機すること。  
面接試験会場に入室後は、受験票以外のものを手元に置かないこと。

#### (2) 注意事項

- ① 事故等でやむを得ず遅刻する時は、教務課に電話連絡し、指示を受けること。連絡できずに遅れて到着した時は、まず教務課で指示を受けること。
- ② 受験生は、全ての試験科目を受験しなければならない。
- ③ 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤフォン等の使用を禁止する。礼拝・試験開始前にアラームの設定を解除し、電源を切りカバン等にしまっておくこと。
- ④ 試験中に体調が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- ⑤ 学生食堂等がないので、試験当日のプログラムによっては昼食持参が望ましい。
- ⑥ 付き添い者の控室はなく、受験生以外は建物や敷地の中に入ることはできない。

## 9. 合格者発表

#### (1) 方法

合格者発表は掲示および通知の送付により行なう。

##### ① 合格者掲示

次の発表日時から翌日正午まで、合格者の氏名を本学掲示板に発表する。

##### ② 合否通知等送付

合格者には合格通知証および入学手続書類を、不合格者には不合格通知を、発表日に書留速達で発送する。その際、出願時提出の「宛名」を使用する。

合格者発表日	2023年2月17日(金) 午前11時
--------	---------------------

#### (2) 注意事項

- ① 合否通知等の窓口での直接交付は行なわない。
- ② 合否に関する電話等による問い合わせには、一切応じない。



## 10. 入学手続

入学手続に関する詳細は合格者に書面で通知する。

### (1) 入学金

合格者は入学金を入学金納入締切日までに納めること。

入学金	290,000円
入学金納入締切日	2023年3月3日(金)

### (2) 提出書類

合格者は、次の書類を提出締切日必着で提出すること。

- ① 新入時学籍情報
- ② 保証書
- ③ 住民票の写し（提出日より3ヶ月以内に発行されたもの）
- ④ 教会生活に関する調査

入学手続書類提出締切日	2023年3月3日(金)
-------------	--------------

### (3) 注意事項

- ① 一度納入された入学金および提出された書類は、理由の如何を問わず返還しない。
- ② 締切日までに、入学金納入と入学手続書類提出がない場合は、入学辞退とみなす。
- ③ 入学手続を完了した後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、速やかに申し出ること。2023年3月31日(金)までに所定用紙にて入学辞退届を提出した場合に限り、入学金を除く学生納付金(授業料・施設費)から振込手数料を差し引いた金額を返還する。2023年3月31日(金)までに入学辞退届の提出がない場合は、学生納付金(授業料・施設費)は返還しない。
- ④ 出願時に出願資格となる学校に在籍中だった者は、2023年4月4日(火)入学式までに、次の書類の原本(和文または英文)を厳封で提出すること。
  - ・ 出願資格となる大学等の最終学期の成績が含まれている成績証明書
  - ・ 出願資格となる大学等の卒業証明書
- ⑤ 出願時に日本語能力試験の受験票のコピーを提出した留学生等は、2023年4月4日(火)入学式までに、日本語能力試験N1の「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合格結果通知書」のコピーを提出すること。

## 11. 初年度学生納付金

授業料・施設費納入に関する詳細は合格者に書面で通知する。

初年度納入金		納入額	納入締切日
入学金 (a)		290,000 円	2023年3月3日(金)
学費 *1	授業料 <年額> *2	540,000 円	2023年4月6日(木)
	施設費 <入学時のみ>	240,000 円	
学費計 (b)		780,000 円	
諸費 *3	神学会費 <年額> *4	3,300 円	入学後に通知
	学生教育研究災害傷害保険料 *5	1,400 円	
	コピーテキスト代 <年額>	1,000 円	
諸費計 (c)		5,700 円	
初年度納入金合計 (a) + (b) + (c)		1,075,700 円	

- 次年度以降は授業料・神学会費・コピーテキスト代を納入する。

### \*1 学費

入学金と同時に授業料・施設費の全額を納入しても差し支えない。

### \*2 授業料

授業料は学期ごとに分納することができる。その場合の納入額と納入締切日は次の通り。

- ・前期分 270,000 円：2023年4月6日(木)
- ・後期分 270,000 円：2023年10月13日(金)

### \*3 諸費

諸費は2022年度実績。2023年度の納入額は入学後の通知を参照のこと。

### \*4 神学会

神学会は、神学研究誌『神学』の刊行や講演会の開催等、東京神学大学の神学活動を行っている。本学の専任教員および学生は全員加入し、その会員となることが「東京神学大学神学会会則」により定められている。会員は、毎年度会費を納入することで当該年度の『神学』の配布を受けたり、神学会主催の講演会等に参加したりすることができる。

### \*5 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険とは、大学における学生の教育研究活動中(通学中を含む)に被った災害に対し、公益財団法人日本国際教育支援協会が窓口となった全国的な補償制度である。本学学生は、入学時に全員加入する。保険内容は、入学後に配付される『学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり』にて確認すること。なお、1,400円は2年間の保険料。

## 12. 受験時および入学後に配慮が必要な場合

東京神学大学では、障がい等の事由で受験時や入学後に配慮が必要な場合、個々の状況に応じた合理的な配慮を行なっている。配慮を希望する者は、次の手順により、申請すること。

### (1) 手順

- ① 出願前に教務課入試係に書面もしくは電話で面談を申し込む。2022年12月3日(土) [オープンキャンパス] までに面談を終えられるよう日程に余裕を持つこと。
- ② 所属教会牧師または代理者の同席のもと、本学入試担当教員と面談し、障がい等の状況・教会生活の状況・希望する配慮等について確認する。
- ③ 面談の内容について本学が検討したこと、また、受験時および入学後に提供できる合理的配慮について書面で受け取る。
- ④ 上記③に同封される「配慮願い出書」(本学所定)および「障害者手帳」(障がいの種類と等級記載のページ)のコピーまたは医師の診断書を、出願書類と共に出願期間内に提出する。

### (2) 注意事項

- ① 合格した場合には、入学手続完了後、修学上の具体的な配慮について改めて確認する。
  - ② 出願後、不慮の事故等により同様に配慮を希望するに至った場合も、速やかに申し出ること。
- ※提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否に一切関係しない。

## <参考> 筆記試験について

### 1. 外国語試験

聖書神学専攻・組織神学専攻とも外国語試験(英語・ドイツ語より1科目を選択)が課せられる。試験時間は90分。受験科目に応じて、英和辞典または独和辞典の使用を認める。電子辞書は不可。

#### (1) 出題の意図

神学を学び、また研究を進めるために、英語あるいはドイツ語の神学文献を理解することができるかを評価する。制限時間内にできるだけ早く、正確に日本語訳することが求められる。

#### (2) 過去の出題

##### ◆英語

年度	出典
2022年度	Marvin A. Sweeney, <i>Zephaniah</i> (Minneapolis: Augsburg Fortress, 2003), pp. 1-2.
2021年度	Euan Cameron, <i>The European Reformation</i> (Oxford: Oxford University Press, 1991), pp. 125-126.
2020年度	James Dunn, <i>Romans 1-8</i> (Nashville: Thomas Nelson, Inc., 1988), pp. 1-2.

##### ◆ドイツ語

年度	出典
2022年度	Peter Stuhlmacher, <i>Vom Verstehen des Neuen Testaments: Eine Hermeneutik</i> (Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 1986), S. 46-47.
2021年度	Wilhelm Korff / Markus Vogt (Hg.), <i>Gliederungssysteme angewandter Ethik</i> (Freiburg: Herder, 2016), S. 160-161.
2020年度	Wilfried Härle, <i>Ethik</i> (Berlin: Walter de Gruyter, 2011), S. 149-151.

### 2. 専攻に関係のある語学

聖書神学専攻志願者には、専攻に関係のある語学の試験が課せられる。試験時間は60分。(受験科目に応じて、本学が貸与するヒブル語もしくはギリシャ語の辞書の使用を認める。)

#### (1) 出題の意図

旧約聖書神学あるいは新約聖書神学の研究を遂行するために、聖書原典を読むことができるかどうかを評価する。ヒブル語あるいはギリシャ語の聖書原典が提示され、出題箇所を正確に日本語訳することが求められると同時に、基本的な文法事項の理解が問われる。

#### (2) 過去の出題

##### ◆旧約聖書神学専攻：ヒブル語

2022年度の出題は、「次のヒブル語を、できるだけ正確な日本語に訳しなさい。」「上記ヒブル語文の1節と2節に現れる、8つの動詞をパーズしなさい。」であった。

年度	出題された聖書箇所
2022年度	列王記 上 19章1～4節
2021年度	創世記 3章13～14節
2020年度	コヘレトの言葉 12章7～8節

##### ◆新約聖書神学専攻：ギリシャ語

2022年度の出題は、「次の文章を日本語に訳し、動詞をすべて取り出して、文法的に説明しなさい。」であった。

年度	出題された聖書箇所
2022年度	マルコによる福音書 1章40～45節
2021年度	テサロニケの信徒への手紙一 1章1～10節
2020年度	マルコによる福音書 4章1～8節



## 博士課程後期課程 聖書神学専攻 組織神学専攻

### ◆ 東京神学大学大学院の理念・目的（東京神学大学大学院学則第1条・第2条に拠る）

東京神学大学大学院は、学校教育法第99条に基づき、キリスト教神学の理論および応用を教授研究する神学研究科を置き、博士課程を設けています。博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

博士課程後期課程は、神学における国内外の学界へ学問的貢献ができる専門的学識を有し、高等教育機関において研究者また教育者として貢献し、教会や社会のあり方についての諸課題に深く取り組むことのできる人材を育成することを目指します。

### ◆ 東京神学大学大学院神学研究科博士課程後期課程 3つのポリシー

#### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本課程では、自立した研究活動により神学における国内外の学界への学問的貢献ができるレベルの専門的学識を修得すること、また、高等教育機関において研究者・教育者として継続的に研究業績を出すことのできる能力を身に付けることが求められます。

そのために、本課程に3年（6学期）以上にわたって在学して①所定の単位（16単位）を修得し、②外国語学力認定試験に合格し（85点以上）、③学術小論文1本を学術誌に発表し、④3科目にわたる論文提出資格認定試験に合格した（85点以上）とき、博士論文の提出資格が与えられます。さらに指導教授の指導の下で論文を完成・提出し、審査委員会による審査（口述試験を含む）に合格（80点以上）すると、博士（神学）の学位が授与されます。

#### 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本課程においては、学生は聖書神学専攻または組織神学専攻のどちらかに所属します。両専攻とも、教育課程は授業の履修と博士論文作成の二つの柱からなります。

まず、神学における国内外の学界への学問的貢献ができるレベルの専門的学識を身に付けるために、授業を履修します。授業は、専門的な学識を深めるために講義形式で行われるものと、自立した研究能力を身に付けるために演習形式で行われるもの、及びその両者を組み合わせたものが開講されます。その中から、専門分野の後期課程レベルの神学的知識を身に付けるために専攻科目12単位を、さらに、幅広く深い神学の理解を身に付けるために専攻外科目4単位を履修します。

それを踏まえつつ、自立した研究活動によって継続的に研究業績を出すことのできる能力を身に付けるために、また学問的成果の一つとして、博士論文を作成します。論文提出に備え、指導教授による指導計画書（年度初め）と学生による研究報告（年度末）、さらに研究発表を踏まえながら、指導教授によって個別に論文指導がなされます。同時に、神学における国内外の学界への学問的貢献ができるレベルの専門的学識を修得したかどうかを確認するため課される外国語学力認定試験や論文提出資格認定試験等、論文提出資格取得のための諸条件を満たすことを目指しつつ、論文を作成していきます。

#### 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、以下のような能力・意欲等をもつ学生を求めます。

1. 召命を確信し、神学における高度な専門的学識に基づいて教育・研究を担うことを目指す伝道者
2. 神学における修士レベルの専門的知識を有する者
3. 国内外の高等教育機関等において学問的に貢献することを目指す者
4. 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
5. コミュニケーション能力と論理的思考に基づく専門的能力を高めたいと願う者

## 1. 出願資格

次の(1)、および(2)または(3)に該当する者。ただし、留学生等は(1)、および(2)または(3)、ならびに(4)に該当する者。

- (1) 福音主義（プロテスタント）の教会に属し、洗礼（バプテスマ）を受けた後原則として3年以上教会生活をしている者で、所属教会もしくは所属教団の推薦がある者。
- (2) 本大学院または他の大学院（外国の大学院を含む）において、修士（神学）もしくはそれに準ずる学位を得た者。もしくは、2023年3月に修士（神学）の学位を取得見込、または、それに準ずる学位を取得見込の者。
- (3) 文部科学大臣の指定した者で、本大学院の研究科委員会による個別の入学資格審査により、修士（神学）の学位を得た者と同等の学力を有すると認められた24歳以上の者。該当者は、出願資格の有無についての事前審査を要する。出願資格審査要項を教務課より取り寄せること。
- (4) <留学生等※>日本語能力に関して、次のいずれかに該当する者。
  - ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1または1級合格者。
  - ② 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1の2022年度受験者。
  - ③ 学校教育法に定められている高等学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、短期大学、大学または大学院に在籍している者、あるいは在籍していた者。

※出願資格について不明な点は、出願前に本学に問い合わせること。

## 2. 募集定員

聖書神学専攻：若干名  
組織神学専攻：若干名

## 3. 試験日

2023年2月14日（火）・15日（水）

※新型コロナウイルス感染症等による理由で、試験当日やむを得ず欠席した場合は、振替試験申請手を完了し、本学が認めた場合に限り、2023年3月7日（火）に振替試験を受験することができる。ただし、新型コロナウイルス感染等の状況によって変更する場合がある。詳細は受験票とともに通知する。

## 4. 試験会場

東京神学大学（東京都三鷹市大沢3-10-30）

## 5. 選考方法

	聖書神学専攻	組織神学専攻
論文審査	修士論文もしくはそれに準ずるもの ●論文は出願時に提出する。	
筆記試験	外国語（90分） ●英語・ドイツ語のうち1科目を受験する。 受験科目は出願時に選択する。 ●受験科目に応じて、それぞれ英和辞典・独和辞典の使用を認める。 書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。	
面接試験 （口頭試問）	20分程度	

## 6. 出願手続

志願者は次の期間中に入学検定料を納入し、出願書類を本学所定の出願用封筒により簡易書留速達で提出すること。

入学検定料納入および出願期間 (消印有効)	2023年1月10日(火)～1月17日(火)
--------------------------	------------------------

### (1) 入学検定料

#### ① 入学検定料

26,000 円

#### ② 納入方法

本学所定の振込用紙に必要事項を記入のうえ、入学検定料納入期間中に日本国内の金融機関窓口（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から納入すること。

### (2) 出願書類

#### ① 入学者選抜願書

- ・ 太枠内は表面・裏面とも漏れなく記入し、該当項目を○印で囲むこと。細枠内は記入しない。
- ・ 「聖書神学専攻」「組織神学専攻」のいずれか志望する専攻に○印を記入すること。
- ・ 氏名は戸籍やパスポート等と同一の表記にすること。
- ・ 年齢は2023年4月1日時点の満年齢を記入すること。
- ・ 証明写真（縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。スナップ写真不可）を貼付すること。
- ・ 表面に年月日を記入し、自署すること。

#### ② 入学者選抜願書 付表2

- ・ 太枠内に氏名を記入すること。
- ・ 家庭状況  
同居および帰省先の家族について、差し支えない範囲で記入すること。  
※付表2への記載内容は合否に一切関係しない。

#### ③ 志望理由書

- ・ 本研究科への志望動機および志望する専攻とその理由について、本学所定用紙に1,000字～1,200字でまとめること。
- ・ ワープロで作成したものを貼付する場合は、割印をすること。

#### ④ 所属教会等推薦書（教区長、支区長、他の教職者による推薦状）

- ・ 「所属教会等推薦書作成についてお願い」に推薦書提出用封筒を添えて、所属教会の牧師に作成を依頼すること。
- ・ 志願者がキリスト教会の教職ではない場合、所属教会牧師に推薦書作成を依頼する際には、教会の信徒代表者の署名・押印を依頼すること。
- ・ 推薦書は、厳封のまま出願用封筒に同封して提出すること。

#### ⑤ 所属学校長の承諾書

- ・ キリスト教学校教員で在職のまま志願する者のみ提出すること。
- ・ 所属学校長の同意を得て、所属学校長に署名・押印を依頼すること。

#### ⑥ 写真票

- ・ 入学検定料納入後「振込金通知書A票(入学検定料・学校提出用)」を所定欄に貼付すること。
- ・ 証明写真（縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。スナップ写真不可）を貼付すること。
- ・ 専攻・受験番号の欄は記入せず、氏名のみを記入すること。

#### ⑦ 受験票および宛名

- ・ 受験票は、願書受理通知および入学検定料受領書を兼ねる。
- ・ 受験票の受験番号・専攻の欄は記入せず、氏名のみを記入すること。
- ・ 宛名は、本学からの連絡・通知の際に使用するため、郵便物が確実に届くよう丁寧に記入すること。

#### ⑧ 入学志願者健康診断書

- ・ 出願前1年以内に受診したものを提出すること。
- ・ 本学所定用紙に記載の項目が網羅されているものであれば、学校・勤務先等の健康診断結果のコピーでも構わない。



⑨ 受験票返信用封筒

- ・ 簡易書留速達 664 円分の切手を貼付すること。
- ・ 表面に受験票の送付先住所・郵便番号・氏名を明記すること。

⑩ 大学院の成績証明書※

- ・ 出願資格となる大学院（外国の大学院を含む）の成績証明書（和文または英文）の原本を厳封で提出すること。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得られない場合は、出願前に本学に問い合わせること。

⑪ 大学院の修了(見込)証明書※

- ・ 出願資格となる大学院（外国の大学院を含む）の修了（見込）証明書（和文または英文）の原本を厳封で提出すること。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得られない場合は、出願前に本学に問い合わせること。

⑫ 論文

- ・ 志望専攻分野における修士論文もしくはそれに準ずる学術論文の写しを提出すること。
- ・ 言語は日本語に限り、分量は 24,000 字～40,000 字とする。
- ・ A4 用紙（横書き）にて作成すること。

⑬ 論文の概要

- ・ 提出する論文の概要を 3,000 字～4,000 字にまとめること。言語は日本語に限る。
- ・ A4 用紙（横書き）にて作成すること。

⑭ 研究計画書

- ・ 本学所定表紙をつけ、左上をクリップ留めすること。

⑮ 修士論文等以外の研究業績一覧

- ・ 本学所定用紙に記載し、現物あるいはコピーを併せて提出すること。
- ・ 研究業績の書籍等が出願用封筒に入らない場合は、授受の記録が残る方法（簡易書留・宅配便等）で別送すること。

⑯ <留学生等>日本語能力が出願資格を満たすことを証明する書類

- ・ 出願資格(4)①に該当する者は、「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合否結果通知書」のコピーを提出すること。
- ・ 出願資格(4)②に該当する者は、2022 年度日本語能力試験の受験票のコピーを提出すること。
- ・ 出願資格(4)③に該当する者は、上記出願書類の⑩および⑪を提出すればよい。

(3) 出願上の注意

- ① 出願書類等を記入する際は、黒または青のペンで記入すること。鉛筆・シャープペンシル・フリクション等の消せるペンは使用不可。
- ② 訂正箇所は、二重線を引き訂正印を押すこと。修正液・修正テープ等は使用不可。
- ③ 出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けない。
- ④ 納入された入学検定料および提出された出願書類は、理由の如何を問わず返還しない。
- ⑤ 虚偽の書類が提出された場合あるいは提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消す。また、合格後に虚偽の記載あるいは虚偽の書類の提出が判明した場合においても、入学許可を取り消す。

## 7. 受験票

受験票は簡易書留速達で発送する。その際、試験当日のプログラムを同封する。

受験票発送日	2023年2月3日（金）
--------	--------------

(1) 注意事項

- ① 日本郵便による不在連絡票を受け取った場合は速やかに対応し、受験票を確実に受け取る
- ② 受験票が未着の場合は、2023 年 2 月 8 日（水）までに教務課へ連絡すること。
- ③ 受験票を紛失した場合は、速やかに教務課に申し出ること。
- ④ 試験当日は、受験票を必ず持参し、常に携帯すること。

## 8. 試験当日

### (1) プログラム

#### ◆1日目:2023年2月14日(火)

##### ① 受付

午前8時40分～50分間に本人確認等を行う。

##### ② 礼拝

試験に先立って礼拝が行なわれるので、聖書・讃美歌を持参することが望ましい。  
本学では、新共同訳聖書と1954年版讃美歌Ⅰ・Ⅱ編を用いている。

##### ③ 筆記試験

- ・鉛筆・消しゴム等の筆記用具を持参すること。
- ・受験科目に応じて、英和辞典・独和辞典の使用を認めるので、書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。

#### ◆2日目:2023年2月15日(水)

##### 面接

面接開始時刻の30分前を目安に来校し、受験生控室にて待機すること。  
面接試験会場に入室後は、受験票以外のものを手元に置かないこと。

### (2) 注意事項

- ① 事故等でやむを得ず遅刻する時は、教務課に電話連絡し指示を受けること。連絡できずに遅れて到着した時は、まず教務課で指示を受けること。
- ② 受験生は、全ての試験科目を受験しなければならない。
- ③ 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤフォン等の使用を禁止する。礼拝・試験開始前にアラームの設定を解除し、電源を切りカバン等にしまっておくこと。
- ④ 試験中に体調が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- ⑤ 学生食堂等がないので、試験当日のプログラムによっては、昼食持参が望ましい。
- ⑥ 付き添い者の控室はなく、受験生以外は建物や敷地の中に入ることはできない。

## 9. 合格者発表

### (1) 方法

合格者発表は掲示および通知の送付により行なう。

#### ① 合格者掲示

次の発表日時から翌日正午まで、合格者の氏名を本学掲示板に発表する。

#### ② 合否通知等送付

合格者には合格通知証および入学手続書類を、不合格者には不合格通知を、発表日に書留速達で発送する。その際、出願時提出の「宛名」を使用する。

合格者発表日	2023年2月17日(金) 午前11時
--------	---------------------

### (2) 注意事項

- ① 合否通知等の窓口での直接交付は行なわない。
- ② 合否に関する電話等による問い合わせには、一切応じない。

## 10. 入学手続

入学手続に関する詳細は、合格者に書面で通知する。

### (1) 入学金

合格者は入学金を納入締切日までに納めること。

入学金	290,000円
入学金納入締切日	2023年3月3日（金）

### (2) 提出書類

合格者は次の書類を入学手続書類提出締切日必着で提出すること。

- ① 新入時学籍情報
- ② 保証書
- ③ 住民票の写し（提出日より3ヶ月以内に発行されたもの）

入学手続書類提出締切日（必着）	2023年3月3日（金）
-----------------	--------------

### (3) 注意事項

- ① 一度納入された入学金および提出された書類は、理由の如何を問わず返還しない。
- ② 締切日までに、入学金納入と入学手続書類提出がない場合は、入学辞退とみなす。
- ③ 入学手続を完了した後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、速やかに申し出ること。2023年3月31日（金）までに所定用紙にて入学辞退届を提出した場合に限り、入学金を除く学生納付金（授業料・施設費）から振込手数料を差し引いた金額を返還する。2023年3月31日（金）までに入学辞退届の提出がない場合は、学生納付金（授業料・施設費）は返還しない。
- ④ 出願時に出願資格となる学校に在籍中だった者は、2023年4月4日（火）入学式までに、次の書類の原本（和文または英文）を厳封で提出すること。
  - ・ 出願資格となる大学院等の最終学期の成績が含まれている成績証明書
  - ・ 出願資格となる大学院等の修了証明書
- ⑤ 出願時に日本語能力試験の受験票のコピーを提出した留学生等は、2023年4月4日（火）入学式までに、日本語能力試験N1の「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合格結果通知書」のコピーを提出すること。

## 11. 初年度学生納付金

授業料・施設費納入に関する詳細は合格者に書面で通知する。

初年度納入金		納入額	納入締切日
<b>入学金 (a)</b>		<b>290,000 円</b>	2023年3月3日(金)
<b>学費</b> *1	授業料 <年額> *2	540,000 円	2023年4月6日(木)
	施設費 <入学時のみ>	240,000 円	
<b>学費計 (b)</b>		<b>780,000 円</b>	
<b>諸費</b> *3	神学会費 <年額> *4	3,300 円	入学後に通知
	コピーテキスト代 <年額>	1,000 円	
<b>諸費計 (c)</b>		<b>4,300 円</b>	
<b>初年度納入金合計 (a) + (b) + (c)</b>		<b>1,074,300 円</b>	

- 次年度以降は授業料・神学会費・コピーテキスト代を納入する。

**\*1 学費**

入学金と同時に授業料・施設費の全額を納入しても差し支えない。

**\*2 授業料**

授業料は学期ごとに分納することができる。その場合の納入額と納入締切日は次の通り。

- ・前期分 270,000 円：2023 年 4 月 6 日（木）
- ・後期分 270,000 円：2023 年 10 月 13 日（金）

**\*3 諸費**

諸費は 2022 年度実績。2023 年度の納入額は入学後の通知を参照のこと。

※長期履修学生の授業料納入額および諸費については、別紙「長期履修学生制度について」を参照すること。

**\*4 神学会**

神学会は、神学研究誌『神学』の刊行や講演会の開催等、東京神学大学の神学活動を行っている。本学の専任教員および学生は全員加入し、その会員となることが「東京神学大学神学会会則」により定められている。会員は、毎年度会費を納入することで当該年度の『神学』の配布を受けたり、神学会主催の講演会等に出席したりすることができる。

**※学生教育研究災害傷害保険**

学生教育研究災害傷害保険とは、大学における学生の教育研究活動中（通学中を含む）に被った災害に対し、公益財団法人日本国際教育支援協会が窓口となった全国的な補償制度である。博士課程後期課程の学生の加入は任意である。保険料は年額 800 円。詳細については、合格後に通知する。

## 12. 受験時および入学後に配慮が必要な場

東京神学大学では、障がい等の事由で受験時や入学後に配慮が必要な場合、個々の状況に応じた合理的な配慮を行なっている。配慮を希望する者は、次の手順により、申請すること。

### (1) 手順

- ① 出願前に教務課入試係に書面もしくは電話で面談を申し込む。2022 年 12 月 3 日（土）〔オープンキャンパス〕までに面談を終えられるよう日程に余裕を持つこと。
- ② 所属教会牧師または代理者の同席のもと、本学入試担当教員と面談し、障がい等の状況・教会生活の状況・希望する配慮等について確認する。
- ③ 面談の内容について本学が検討したこと、また、受験時および入学後に提供できる合理的配慮について書面で受け取る。
- ④ 上記③に同封される「配慮願い出書」（本学所定）および「障害者手帳」（障がいの種類と等級記載のページ）のコピーまたは医師の診断書を、出願書類と共に出願期間内に提出する。

### (2) 注意事項

- ① 合格した場合には、入学手続完了後、修学上の具体的な配慮について改めて確認する。
  - ② 出願後、不慮の事故等により同様に配慮を希望するに至った場合も、速やかに申し出ること。
- ※提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否に一切関係しない。

<参考> 筆記試験について

外国語試験

聖書神学専攻・組織神学専攻とも外国語試験(英語・ドイツ語より1科目を選択)が課せられる。試験時間は90分。受験科目に応じて、英和辞典または独和辞典の使用を認める。電子辞書は不可。

(1) 出題の意図

神学研究を進めるために、英語あるいはドイツ語の神学文献を理解することができるかを評価する。制限時間内にできるだけ早く、正確に日本語訳することが求められる。

(2) 過去の出題

◆英語

年度	出典
2022年度	Stanley J. Grenz, <i>The Social God and the Relational Self: A Trinitarian Theology of the Imago Dei</i> (Louisville: Westminster John Knox Press, 2001), pp. 23-25.
2021年度	Richard Bauckham, "The Future of Jesus Christ," in <i>The Cambridge Companion to Jesus</i> , ed. Markus Bockmuehl (Cambridge: Cambridge University Press, 2001), pp. 265-267.
2020年度	Willem Van't Spijker, <i>Calvin, A Brief Guide to His Life and Thought</i> (Louisville: Westminster John Knox Press, 2009), pp. 136-138.

◆ドイツ語

年度	出典
2022年度	Martin Honecker, <i>Auf der Suche nach Orientierung im Labyrinth der Ethik</i> (Stuttgart: Kohlhammer, 2017), S. 9-10.
2021年度	Ernst Troeltsch, Die Soziallehren der christlichen Kirchen und Gruppen (1912). in: Stefan Grotefeld u. a. (Hg.), <i>Quellentexte theologischer Ethik: Von der Alten Kirche bis zur Gegenwart</i> (Stuttgart: W. Kohlhammer, 2006), S. 301-303.
2020年度	Susanne Hennecke, Karl Barth und Friedrich Schleiermacher. Eine Verhältnisbestimmung aus niederländischer Perspektive. in: Susanne Hennecke (Hg.), <i>Karl Barth und die Religion(en)</i> (Göttingen: V&R unipress, 2018), S. 69-71.

**【問い合わせ】**

**東京神学大学 教務課入試係**

〒181-0015

東京都三鷹市大沢 3-10-30

Tel : 0422-32-4185

Fax : 0422-33-0667

Mail : [tuts@tuts.ac.jp](mailto:tuts@tuts.ac.jp)

<https://www.tuts.ac.jp>

